


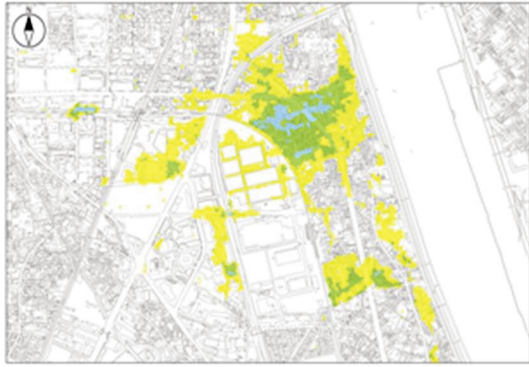

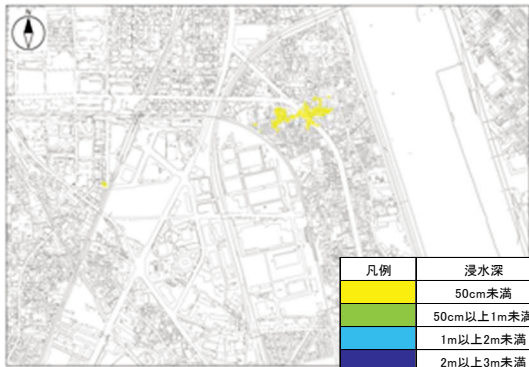
10-3-5. 当日の気象予報を踏まえた浸水シミュレーション

当日の気象予報から以下の計算条件を設定し、シミュレーションにより浸水状況を確認した。  
気象予報どおりの降雨及び河川水位が既往最高水位でおさまっていた場合、ゲート開を維持することで、浸水規模はゲート閉鎖時とほとんど変わらない。(②と③の比較)

気象予報どおりに降雨があった場合、ゲートを閉鎖すると広い範囲で浸水が起きており、内水氾濫の危険を考慮すると、ゲート操作の判断は難しいものであった。③

また、今回の降雨では、操作判断時(7.6m)において、ゲートを閉鎖することで、結果として浸水規模が小さくなる。(①と④の比較)

表 10-3-1 当日の気象予報を踏まえたシミュレーション結果

パターン	① (当日の状況)	② (当日の想定)										
ゲート操作	ゲート開	ゲート開										
河川水位	当日の最高水位 10.81m (22:30)	既往最高水位 9.07m (19:00 と仮定)										
降雨	当日の降雨	気象予報より時間雨量 50mm (19:00 と仮定)、 12日6時～13日6時までの総降雨量を 300mm										
最大 浸水深図												
パターン	③ (仮定 1)	④ (仮定 2)										
ゲート操作	ゲート閉 (15:00 避難判断水位 7.6m 時点)											
河川水位	ゲート閉鎖後は河川水位の影響なし											
降雨	気象予報より時間雨量 50mm (19:00 と仮定)、 12日6時～13日6時までの総降雨量を 300mm	当日の降雨										
最大 浸水深図												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th>浸水深</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>50cm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50cm以上1m未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1m以上2m未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2m以上3m未満</td> </tr> </tbody> </table>	凡例	浸水深		50cm未満		50cm以上1m未満		1m以上2m未満		2m以上3m未満
凡例	浸水深											
	50cm未満											
	50cm以上1m未満											
	1m以上2m未満											
	2m以上3m未満											

※既往最高水位は「国土交通省水文水質データベース」より、田園調布(上)水位観測所で記録された水位(昭和49年9月)

※気象予報より、当日の降雨波形を基に、時間雨量 50mm (19:00 の前後 1 時間と仮定)、12日6時～13日6時までの総降雨量を 300mm と設定 (12日6時から15時までは当日の降雨量 103mm、15時以降は 197mm)